

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3890100302
法人名	医療法人佐藤循環器科内科
事業所名	グループホーム朝生田の里
所在地	愛媛県松山市朝生田町4丁目10番25号
自己評価作成日	平成22年7月30日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年8月11日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

ほとんどの利用者が透析治療を受けられており、食事、水分、運動制限がある中で生活をされている。制限のある中でも、月ごとのレクリエーションを行ったり、地域で開催される体育祭や文化祭に参加したりと楽しみを持った生活をして頂けるように努めている。また利用者との日々の会話を大切にして、ふと言った言葉を逃さず、願いが叶うようお手伝いし、より豊かな生活が送れるように支援している。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

この一年、事業所では外出する機会を増やすことに力を入れて来られ、毎月、計画を立てて出かけるようにされている。誕生日の日には、ご本人の希望をお聞きしてお好きなところに出かけておられ、デパートでウィンドーショッピングして、お茶を楽しんで帰った方もある。  
居室の電話の横には、息子さんの携帯番号がわかるようにされていたり、職員が電話してご家族とお話できるように支援されている。又、友人の方が遊びに来てくれた際には、帰り際に事業所の行事へお誘いしたり、来てもらえるよう声かけをされている。  
透析を受ける時間以外は、体調等もみながら、利用者のお若い頃のお話をされる等、利用者が生き生きと暮らせるように「楽しい時間作り」に心がけておられる。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム朝生田の里

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 仙波 美江

評価完了日

2010年 7月30日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 「尊厳の保持」「自立支援」「地域との密着」という3つの理念を掲げ、実践できるように日々努力している。	
			(外部評価) 事業所は、理念の一つに「地域との密着」と掲げて「開かれたホームを目指して地域の人たちとともに生活する」ために、地域行事等に積極的に参加されたり、法人全体の「夏祭り」を催して、地域交流できるように取り組まれている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 2か月に1度開催している運営推進会議や夏祭りに地域の方に参加頂いたり、地域で開催される体育祭等に利用者、職員も参加している。回覧板を廻してもらえようになり、地域の催しものを把握できるようになった。	
			(外部評価) 町内のお祭りでは、利用者や職員も地域の方達と輪になって一緒に盆踊りを踊ったり、露店等も楽しまれた。又、毎年恒例となっている法人の「夏祭り」には、地域の方や子ども達、地域のグループホームの方、又、ご家族の方も半数ほど来てくださり、関係者も合わせて400名ほどの参加を得て、盛大に行われた。聖カタリナ大学の学生がボランティアに来てくださった。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議を通じて、認知症等に関する相談に応じている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 年間目標をレクレーションの充実と掲げているため、年間に行ったレクレーションを運営推進会議で報告している。また運営推進会議でも、地域の情報を得る事が多い。</p> <p>(外部評価) 2階の居間で会議を開催されており、利用者も時には同席して、出席者にお菓子をすすめてくださったりする。会議では「外部評価結果を受けて具体的に、どのように取り組んでいくか」を報告されたり、地域の方からは地域行事等の情報を教えてもらったりしている。春には、お花見、夏には夏祭り重ねて、会議とされている。</p>	<p>この一年、ご家族のご都合もあり、会議への参加がむづかしかつたようである。ご家族にも会議の意義や目的等を知っていただき、利用する側の立場であるご家族の参加をいただけるよう、働きかけていかれてほしい。又、会議の名称やメンバー・議題の工夫、すすめ方等も配慮して、参加しやすい会議になるよう工夫されてほしい。さらに会議時等を活かして、災害時等の地域との協力体制作りについても、話し合われてみてはどうだろうか。</p>
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議や地区の連絡会の研修会で交流を持つように心がけている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時、地域包括支援センターの担当者の方に「成年後見制度について」お話をいただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 頻回に外へ行かれる方に対しては、見守りを行い、施錠せず対応している。また前年まで、座位保持が不安定な方のベルト着用を行っていたが、職員間で拘束になる事を認識し、座位が安定するように工夫し、家族が利用者連れて散歩に出掛ける時を除き、ベルト着用しなくなった。</p> <p>(外部評価) 利用者は、中庭に出て外気浴されている。ユニットによっては、ユニット出入口や居室入口、又、くつに鈴を付けて、ご本人の動きが職員に分かるようにされている。事業所では、今後、虐待や身体拘束について全職員で知識を深めたり、日々のケアを確認できるよう勉強会を行いたいと考えておられた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)  研修への参加を促している。また入浴時等に身体の観察に努めたり、利用者の声に耳を傾けている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)  休みの日に研修に行き、学んでいる職員もいる。また、運営推進会議で地域包括支援センターの方に説明して頂いた。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)  重要項目を押さえ、説明を行っている。また疑問点や不安な事については、説明を行っている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)  意見箱を設置している。また日頃から利用者、ご家族とコミュニケーションを取るようし、話し易い関係作りに努めている。  (外部評価) 夏祭り時、ご家族は利用者と一緒に楽しまれた。意見箱には、ご家族から感謝のメッセージが入っていたことがある。ご家族の来訪時や電話で日々の様子を伝え、ご意見をうかがっておられる。職員の入れ替わり等があった時に「職員と話しにくい」というようなご意見があり、職員で話し合っ「ご家族が来られた時にはコミュニケーションを図る」ことを取り組まれた。	事業所では、ホーム便りの発行をお休みされていたが、今後、再開する予定である。又、家族会の開催も検討をされていた。運営推進会議も含めて、事業所で力を入れて取り組んでいることを具体的に伝え、ご意見を引き出していかれてほしい。

## 自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			年3回の全体ミーティングや月に1度各階で行っているカンファレンス時に意見交換を行ったり、個人的に聞いたりしている。	
			(外部評価)	
			介護部長や管理者等は、職員に声をかけて悩みを聞き取ったり、相談に応じておられる。自己評価を全職員で取り組み、ユニットのリーダーがまとめられた。その際、職員個々のケア等への理解度や課題等もうかがえたようである。	さらに、今後、事業所では職員研修に力を入れていきたいと考えておられる。「虐待や身体拘束」「尊厳の保持」「アセスメント」等、職員が学びたいこと等も聞き取りながら年間で計画を立てる等、職員個々のさらなるスキルアップから、事業所のケアの質向上を目指していかれてほしい。
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			年末に報告書を提出し、個々の努力、実績を把握し、職場環境や労働条件の整備に努めている。	
13		職員を育てる仕組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			研修の案内を知らせたり、個々の力量に応じた研修を勧めたりしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)	
			石井地区のグループホーム連絡会に参加し、地域のグループホームと勉強会を行ったり、近所のグループホームに毎年夏祭りの案内をし、参加頂いている。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			利用者本人やご家族に事前に見学、面会し、安心して入居できる関係づくりに努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>不安な事、要望等をご家族と話す機会を設け、安心して任せて頂けるような関係作りに努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>リハビリや訪問マッサージが必要だと思われる方には、勧めたりしている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人の持っている力を引き出し、洗濯、掃除、花の水やりなど共に暮らしているという意識を築いている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ご家族が参加頂けるような行事を計画したり、母体病院以外を受診される場合、出来る限りご家族に同行をお願いしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>居室に電話があり、いつでも掛けられる。また入居者が入院した際、お見舞いに行きたいという希望があったので、職員が付き添い、会えるように支援した。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室の電話の横には、息子さんの携帯番号がわかるようにされていたり、職員が電話してご家族とお話できるように支援されている。又、友人の方が遊びに来てくれた際には、帰り際に事業所の行事へお誘いしたり、来てもらえるよう声かけをされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 職員が間に入り、コミュニケーションが取れやすいように支援している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) グループホームから有料老人ホームに移られた方とは、散歩や行事を通して、交流を続けている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日々の会話から一人ひとりの思いを聴き取るように心がけている。また月1回のカンファレンスで情報収集を行い、ケアプランに反映させている。	
			(外部評価) 透析をされている利用者がほとんどで、利用者同士で病気の状態のことや思いをお互いに話されることも多いようだ。又、職員は、利用者個々に希望等をお聞きしながら意向の把握に努めておられる。	事業所では、新たにコンピューターソフトを導入して、アセスメントの充実に取り組みされている。職員が利用者個々を知ることが大切と考え、取り組みを始めた。看とりについての希望等も含めて、思いや意向の把握をすすめられ、ご本人らしい暮らしを続けていけるような介護計画の作成につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時にご家族にセンター方式シートに記入頂いたり、日々の会話で本人に聞いている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 記録に残したり、職員間で話し、情報を共有し把握できるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人、家族に要望を聞いている。またそれを大切にしたいケアプラン作成に努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>3ヶ月ごとに介護計画を見直しておられる。「ご本人やご家族の希望を反映した計画の作成」に取り組んでおられ、利用者個々の担当職員は、ご家族にご本人の日頃の様子を詳細に伝えて、ご家族からも具体的な要望を引き出せるよう「一歩踏み込んだ」聞き取りに努力されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日々の会話、ケアプランの実践内容をケース記録に残している。月に1度カンファレンスを行うようになったので、情報の共有、ケアプランの作成に活かせればと考えている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>マッサージが必要な方には訪問マッサージを頼んだり、外出が困難な利用者には訪問美容をご利用頂いている。またガイドヘルプサービスや訪問歯科のご利用も行っている。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>石手川公園に散歩に出掛けたり、近くの商店に買い物に行ったり、地区の体育祭への参加と、ホーム内に留まらない暮らしを援助し、楽しみを提供している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価)  母体病院と連携し、必要な時に必要な医療が受けられ るようにしている。	
			(外部評価)  週に3回、隣接の母体医療機関に透析を受けに行かれ る方が多い。その際には、職員が、お連れして迎えに 行かれている。状態変化時には、病状を医師からご家 族に説明されている。食事は、隣接の医療機関の栄養 士が立てた透析患者用の献立を、厨房で調理されたも のが届くようになっている。	
31		看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価)  利用者の心身の状況はグループホーム内の看護師だけ でなく、母体病院の医師、看護師にも伝えるようにし ている。	
			(外部評価)  母体病院に入院した際は、情報交換を密にしている。	
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価)  母体病院に入院した際は、情報交換を密にしている。	
			(外部評価)  重度化した場合、今後の対応について家族と話し合っ ている。	
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(外部評価)  入居時にはご家族や利用者に事業所の指針に沿って説 明はされているが、状態に応じて法人の医師と話し合 い、その後のことは医師の判断とご家族の希望で決め るようになっている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)  個々に研修に行き、学んでいる。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)  年に2回消防訓練を行っている。また夜間を想定した訓練も行った。運営推進会議では、地域の方から情報を得たり、協力を仰いでいる。	
			(外部評価)  隣接の法人医療機関と合同で、年に2回避難訓練を行ってられる。いざという時には、近くに住む職員や法人の職員、近所の方が協力をしてくれるようになっている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)  個々の人格を尊重し、人生の先輩であるという敬意を払った対応を心掛けている。	
			(外部評価)  透析を受ける時間以外は、体調等もみながら、利用者のお若い頃のお話をされる等、利用者が生き生きと暮らせるように「楽しい時間作り」に心がけておられる。	職員は「自分が行うケアが他の人から見てどうなのか不安な時もある」と感じておられる。又「利用者がもっと地域の方等、いろいろな方とかかわりながら暮らせるよう支援したい」という思いを持っておられる。時には他事業所と交流されたり、外部者に事業所のケアについて、ご意見をうかがうような機会も作ってみてはどうだろうか。又、事業所自身でも職員の会話や声の大きさ等、配慮できることはないか点検されてみてはどうだろうか。
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)  日々の会話を大事にし、その中から思いを聞き取り、実現できるようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)  個々のペースで過ごせるように支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価)  更衣時に本人に服を選んで頂いたり、買物レクの際に、気に行った服を購入している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価)  食事前に献立を伝え、楽しみを持ってもらえるようにしている。	
			(外部評価)  居間に掲示されているメニュー表を見て、食事を楽しみにされている方や、職員に今日のメニューを聞く方もある。食欲がわからない方にはアイスクリームや高カロリー栄養補助食品で代用されている。職員も一緒に同じものを食べながら「これおいしいよ」とすすめると、食べてみられる方もある。お盆を滑りにくいものに替えたり、食器は深さのあるものにする等、工夫されご自分で、できるだけ食事できるように支援されている。法人の厨房に食事を取りに職員と行かれたり、食後はタッパーを返しに行かれている。お祭りの日や外食される時には、医師の許可を得てビールを楽しまれる方もある。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価)  管理栄養士が栄養バランスの整った食事を提供している。食事量の少ない方は、栄養補助食品を摂って頂いている。水分も制限があるため、個々の決められた水分量を職員が管理している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価)  毎食後、口腔ケアの声掛け、介助を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	
			排泄サイクルチェックシートで排泄リズムをつかみ、トイレへ誘導している。	
			(外部評価)	
			自室にトイレのある部屋もあり、又、共用のトイレを使う方もある。利用者によって、水分摂取量が限られていたり、排尿量が少ないような方も多いが、排泄の記録を取って、管理者が管理されている。又、病状によって、どうしても便秘になりやすいようだが、食事にサツマイモ等、繊維のものも採り入れ配慮をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	
			水分制限があり、下剤を利用している人もいるが、散歩をして体を動かし、薬に頼らないよう予防にも努めている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	
			夜間入浴を希望される方には、応じている。	
			(外部評価)	
			透析を受ける日以外に入浴できるよう支援されている。現在、利用者はみな、入浴を楽しみにされているようで、体を洗うミトンや好みのシャンプー等、ご本人に合ったものを使用して、入浴を楽しめるように支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	
			夜間眠れるように、日中の活動を増やしたり、夜間入浴をし、眠りにつきやすくしている。また日中の体調を見て、休んで頂く場合もある。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 全職員が把握できるように、薬局より薬の説明書を出してもらっている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) センター方式シートや日々の会話から利用者個々の楽しみ、思いや願い知るように努めている。また希望に沿えるように支援している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者の希望で、散歩や近所の商店に買い物に行っている。	
			(外部評価) 歩くことがお好きな方は、散歩に頻繁に出かけられるよう支援されている。この一年、事業所では外出する機会を増やすことに力を入れて来られ、毎月、計画を立てて出かけるようにされている。誕生日の日には、ご本人の希望をお聞きしてお好きなところに出かけておられ、デパートでウィンドーショッピングして、お茶を楽しんで帰った方もある。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人の能力に応じて、買い物時に支払いをしてもらっている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 居室に電話を設置している。遠方にお住まいの家族に手紙を書いてみてはと勧めたりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>季節感のある飾り付け、花や植物を飾ったり、外出時の写真を貼ったりして居心地の良い空間づくりに努めている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>台所と食堂が近く、食事の支度をしている様子がよく見える。窓に行事時の写真を貼っておられたり、ベランダや中庭には草花や野菜を育てておられた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>廊下の椅子や中庭のベンチで過ごして頂ける。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>自宅で使用されていた馴染みの家具や写真を持ち込み、居心地良く過ごして頂けるよう工夫している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>ベッドやテレビ、電話が備えてあり、布団もリースのものを使っている。娘さんが小物を飾ってくださっているお部屋もあった。「夜一人で眠るのはさみしい」と言われる方の枕元には、ぬいぐるみを置いておられた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>廊下に手すりを設置している。また廊下に移動の妨げになる物は置かないようにしている。居室入口に名前を表示し、分かりやすくしている。</p>	